

## 《全国初、池田発の地域分権》

# “自分たちのまちは、自分たちでつくる” まちを守る様々な活動

地域分権の制度が発足して、4年度の経過があり、いよいよ正念場の年でもあります。地域の問題を自分たちで解決するため、意見、課題等を智恵を出し合い地域の実態に応じた予算提案事業を池田市に提出していく事業であります。

去る5月7日(土)石橋会館(午後7時)において、石橋南地域コミュニティ推進協議会の総会が開催された。徳田会長の挨拶の後、総会成立定足数の報告、成立宣言後徳田会長を議長に選出し、案件の提案がありました。続いて、総会次第に沿って平成22年度の活動報告(岡)、会計報告(松室)、監査報告(山浦)各担当役員より報告がされ質疑応答があった。①会計報告で事務費(5,112円)より広報紙費へ流用されている。広報紙がカラー刷りで費用がアップし不足額を流用して処理した。なお処理方法については、市総合政策室とも相談のうえ了解を得て処理している。②会計報告では、事業費と広報紙費の2部作成されているが、今後1部にまとめて、わかりやすい方法がとれないか検討願いたい。以上をもって平成22年度の事業活動一括案件について採決し承認されました。

平成22年度役員退任挨拶 このたび会長(初代)を任期満了(4年)で退任いたします。役員様はじめ会員様、地域住民のみなさん、並びに池田市行政の方々と分権担当サポーターの方に格別のご高配を賜り誠に有難うございました。地域分権の事業活動に没頭できたことを自負し、ここに謹んでお礼と感謝を申し上げます。「石橋南から がんばろう日本！」

次に平成23年度役員選出について紹介別記のとおり(役員会[2回])にて内規による地域別候補者を推薦)報告があり、新役員、相談役が承認された。新栃尾会長を議長に選出して、平成23年度の事業計画、予算について提案、質疑、承認されました。以上をもって閉会いたしました。(予算提案事業書の提出期限は、平成23年10月30日)平成23年度予算提案事業額は、予算提案額は、8,792千円、基金積金10千円、なお、事業の実施は平成24年度になる。市該当部所松村、長森、大田原、布施氏来席。



「道しるべ」

### 会長挨拶

平成19年9月に発足しました石橋南地域コミュニティの活動も4年度が過ぎ、総会において任期満了に伴い役員改選が行われ、徳田宗義会長の後任として会長に就任いたしましたことになりました。微力ではありますが専心努力をいたす所存でございます。格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私たちの街を私たちの手で住みよい、安心・安全な街にする為に、街灯を初め、防犯カメラ、AED等多くの事業に推進実現して来た所です。これからも会員の私たちは、石橋南地域内の自治会や各種団体の皆さんとの対話を広げて交流を深めていきたいと思っております。

石橋南地域の皆さんの声を推進協議会にお届け下さい。私たち協議会の会員は、これからも石橋南地域の発展に取り組んでまいります。

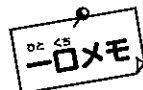
石橋南地域コミュニティ推進協議会 会長 栃尾成一

### 平成23年度 石橋南地域コミュニティ推進協議会役員名簿

会長	栃尾成一 (住吉2)	幹事	打川友三郎 (石橋4)
副会長	明里洋助 (荘園2)		後藤隆 (石橋1)
	西岡義晃 (石橋3)		島田俊博 (住吉2)
会計	山浦安男 (空港1)		真田尚彦 (石橋3)
書記	岡義弘 (空港1)		田澤修一 (住吉1)
	堀英子 (石橋1)		西岡宏二 (石橋3)
監査	高木義輝 (石橋4)		兵頭小夜子 (石橋1)
	澤井昌子 (石橋1)		松室利幸 (石橋4)
相談役	徳田宗義 (石橋4)		池田敏子 (石橋4)
			山形武 (石橋3)
			吉村裕子 (空港1)

### 地域分権に関する議会における 倉田市長の発言について

- 議員** 条例で「その地域内において実施する必要がある事業を市に提案することができる」としているにもかかわらず、協議会が事業の実施主体になっている。
- **市長** コミュニティからの自主的な申請により実施いただいている。いずれは地域コミュニティがミニ地方政府として地域の事業を一義的に展開できるまでになることが理想。ただし、市が事業内容を精査することは必要。
- 議員** 公募でコミュニティの会長となった人が、ミニ地方政府の長になるのは難しくないか。
- **市長** 将来的には会長選挙を実施することもありだと考えている。
- 議員** 地域分権制度の理想とは。
- **市長** 将来的には市は全市的な事業を担う一方、地域コミュニティが地域の事業を一義的に展開するという、中央政府とミニ地方政府のような形にまでなることが理想。
- 議員** 会員の固定化と高齢化の解消法はどのようにしていくのか。
- **市長** 市民意識調査と周知用パンフレットの更新により認知度を上げると共に、各種団体との協働で会員の固定化、高齢化を改善していきたい。そのために地域分権・協働課を設置する。
- 議員** 小中学校を越えた取り組みが行われていることはどのように考えているか。
- **市長** 3地域合同でスタンプラリーが実施されるなど、広域連携により事業が行われることは非常に良いこと。将来的にはA地域からB地域へコミュニティバスを運行したり、青バトを広域連携で実施できればと考えている。
- 議員** 認知度を70%にしたいとのことだがどのようにして達成されるのか。
- **市長** まずは52%~53%が第一ステップ、70%が第2ステップと考えている。市民意識調査と周知用パンフレットの更新を予定しているが、若年層の認知度向上がカギだと思うので、中学生ぐらいに認知してもらえるような仕組みが必要だと考えている。



名古屋市の地域委員会について昨年6月に自費にて視察する。池田市の地域分権についても役員(3役)について「非公選」で候補者による選挙を、スピードよく具体的実施を賛同する。

みんなで作る将来のまちのイメージとしてのタイトルは

## 地域の人々が共生し、みんなで作る 安心・安全・きれいなまち 石橋南